



2026年1月26日

各 位

会社名 株式会社イオレ
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 瀧野 諭吾
(コード: 2334、東証グロース)
問合わせ先 取締役 CFO 貞方 渉
(TEL.050-5799-9400)

(開示事項の経過) レンディング事業における法人顧客からのレンディング申し込み金額30億円の突破及び暗号資産レンディングサービス「らくらくちょコイン」法人向けプランの本格展開に関するお知らせ

当社は、暗号資産金融事業のレンディング事業における法人顧客からのレンディング申し込み金額が30億円を突破したこと及び2025年12月25日付で公表いたしました、個人向け暗号金融資産レンディングサービス「らくらくちょコイン」（以下「本個人向けサービス」）につき、法人のお客様も対象範囲を拡張し、法人向けプラン（以下「本法人向けプラン」）としての提供を開始することをお知らせいたします。

【ご参考】

※ 2025年12月25日付当社IR「個人向け暗号金融資産レンディングサービス「らくらくちょコイン」の提供開始等に関するお知らせ」

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2334/tdnet/2735522/00.pdf>

記

1. 法人顧客からのレンディング申し込み金額30億円突破の背景

本個人向けサービスのリリース以降、既存の戦略的提携パートナーを含む複数の暗号資産運用事業者に加え、暗号資産を分散投資の有力な手段として位置づける法人からも、当社の分散運用を前提とした運用体制およびリスク管理方針に対して関心が寄せられており、これらの引き合いを背景に、これらの事業者および法人との間で個別協議を継続してまいりました。その結果、本個人向けサービスと同様の運用スキームを活用した法人向け暗号資産レンディングにおいて、法人顧客によるレンディング申し込みに至りました。当該顧客の、申し込みを主要因として、当社レンディング事業での本日時点における法人向けレンディング申し込み金額は、総額約30億円以上（現時点の暗号資産（BTC）の市場価格を基準に円換算した場合）の規模へと拡大しております。

2. 本法人向けプランについて

(1) 開始の背景

当社では、本個人向けサービスの事前登録の受付状況及び事業者・法人からの多数の反響や個別協議の状況等を勘案し、これらの一連の反応は、暗号資産レンディングサービスが個人・法人の両顧客層において、当初の想定を超えるペースで市場に受容され、今後の市場ニーズやサービスの拡張性を示唆するものと考えております。当社は、暗号資産を取り巻く制度環境の変化や市場成熟の追い風をレンディング事業の収益拡大の機会と捉え、個人のお客様のみに留まらず、法人層のニーズにも対応した暗号資産レンディングサービスを幅広く展開してゆくことを決定いたしました。

(2) 概要

本法人向けプランは、暗号資産を既に保有し、より効率的かつ魅力的な利回りを提供する新たに運用先を検討・開拓を模索している層や財務戦略として暗号資産を分散投資の有力な手段として位置づけ、運用を積極検討する層を主なターゲットとして、個人向けサービスと同様、複数の運用パートナーと連携した分散運用を行い、その運用収益の一部を法人のお客様に還元する仕組みを採用する方針

です。貸借料率は年利 8 %～を基本とし、セキュリティ面では、国際的に実績を有する Fireblocks 社の技術を導入するなど、資産管理体制の強化を図っております。

3. 日程

本法人向けプランのサービス提供開始日は、個人向けサービスの正式提供開始時期に合わせる予定としております。

4. 今後の見通し

本サービス提供による業績への影響について、2026 年 3 月期への業績影響は現在、精査中です。2026 年 3 月期で営業利益の計上、2027 年 3 月期以降で営業利益の拡大を見込んでおります。合理的な算定が可能となり、また業績に重要な影響を与えると判明した場合には、速やかに開示します。

以上